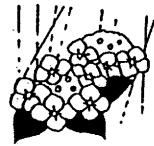


九州大学

No. 521

1995. 6. 5



# 大型計算機センターニュース

福岡市東区箱崎六丁目10番1号  
九州大学大型計算機センター

## 目 次

1. PACX回線 (1200bps, 4800bps) の廃止について .....	1
2. α - FLOW, MASHYCテスト公開のお知らせ .....	2

### 1. PACX回線 (1200bps, 4800bps) の廃止について

*MSP* および *UXP* の高速回線を増強し、学外からの計算機アクセス環境を向上させるため、現在サービスしている *PACX* 回線(1200bps, 2400bps, 4800bps, 9600bps)のうち、1200bpsと4800bpsのサービス、および、電話回線を経由した1200bpsの *PACX* 回線のサービスを平成7年6月末日をもって廃止いたします。

このため、現在1200bpsまたは4800bpsで *MSP* や *UXP* を利用されている方は、通信ソフトの回線速度の設定を2400bpsまたは9600bpsに変更してください。

なお、九州大学の通信基盤である *KITE* を利用すれば10,000,000bpsの高速で *MSP* や *UXP* にアクセスすることができます。ご検討ください。

対象となる回線の電話番号は、以下の通りです。

*PACX* 経由 *MSP* / *UXP*

内線 17,10

局線 092-631-1839

(ネットワーク掛 内線2543)

## 2. $\alpha$ -FLOW, MASPHYC テスト公開のお知らせ

表記アプリケーションライブラリを 1995 年 6 月 12 日(月)よりテスト公開します。

$\alpha$ -FLOW は、最新の解析技術を導入した汎用 3 次元流体解析システムです。格子生成、AI 支援機能など充実したプレ／ポスト機能を有し、ベクトル計算機向けの最適化技術が採用されています。

MASPHYC は、材料の物性・構造を原子・分子レベルのミクロな情報から分子動力学の手法を用いて予測するシステムです。材料の性質を決定する原子・分子間相互作用ポテンシャルをライブラリ化することにより、有機化合物から無機化合物まで幅広い材料に適用可能です。

### 【環境】

当面センター 2 階のワークステーション medics での動作です。LAN 経由での外部からの利用はできません。また、 $\alpha$ -FLOW, MASPHYC を使用するためには、UXP 経由で medics への利用登録が必要です。

マニュアルおよび簡単な実習方法を書いた冊子を medics 横に設置しますので参照下さい。また、マニュアルは 4 階図書室でも閲覧可能です。

### 【注意】

$\alpha$ -FLOW, MASPHYC ともにバックエンドの VP2600/10 で計算を行います。従って計算部分には VP の課金が適用されます。

また、テスト公開のため、VP 側に十分な資源が割り当てられておりません。従って大規模な計算が出来ない場合がありますのでご注意下さい。本運用の日程はセンターニュース等でお知らせします。

(ライブラリ室 内線 2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp